

# DWAT 災害福祉支援

## 災害現場で活躍する福祉のヒーロー

「DWAT (ディーワット)」とは、「Disaster Welfare Assistance Team (災害派遣福祉チーム)」の頭文字を取ったものです。具体的にどんな活動をしている組織なのか、Q&A方式で紹介します。

岡山県社会福祉法人経営者協議会、岡山県社会福祉法人経営青年会 プレゼンツ

### 目次

- ▼ Q1. DWAT ってどんなもの？
- ▼ Q2. DWAT にはどんな資格の人がいるの？
- ▼ Q3. 岡山県の DWAT は今までどんな活動をしたの？
- ▼ Q4. 活動には何人が参加したの？
- ▼ Q5. 避難所ではどんなことをしたの？

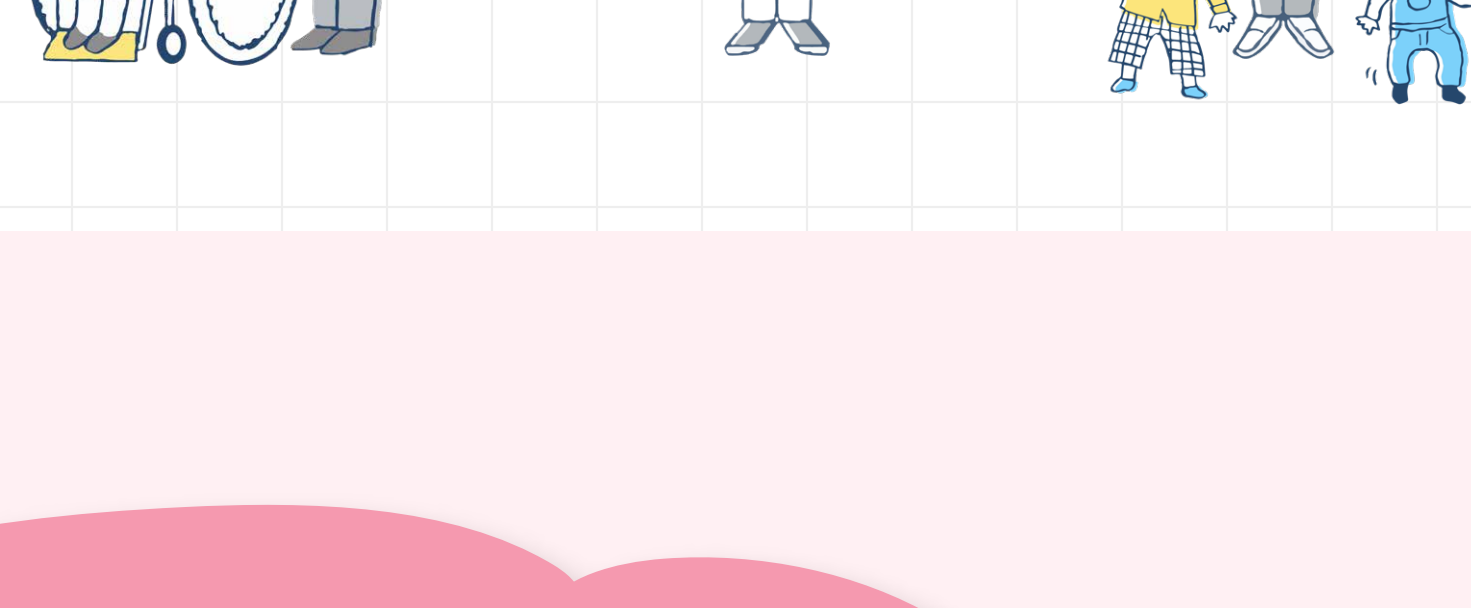
### Q1 DWAT ってどんなもの？

**A1** 普段、福祉施設や病院で働く「介護士さん」「介護(医療)相談員さん」「障がい者支援員さん」「保育士さん」などが5名程度でONE TEAMとなり、西日本豪雨のような災害の時に、被災地の体育館などの一般避難所に行き、避難者に寄り添い、福祉のスペシャリストとして支援活動を行います。例えば困っている人がいなか保健師さんと一緒に避難所を回ってお話を伺ったり、何でも相談できる相談所を設置したり、避難所すべてのごみ箱を清潔に管理したりします。こういった活動をすることで、医療や保健だけではカバーできない【生活】について、福祉のスペシャリストの視点で避難者を支援して、災害二次被害(ストレス過多、情報弱者、不衛生な生活による病気など)から避難者を守ります!!



### Q2 DWAT にはどんな資格の人がいるの？

**A2** 高齢者施設などで働く「介護福祉士」「介護支援専門員」  
病院・施設などで働く「社会福祉士」「精神保健福祉士」  
保育園などで働く「保育士」  
などが主な資格者の皆さんです。



### Q3 岡山県の DWAT は今までどんな活動をしたの？

**A3** 平成30年7月豪雨の時に、倉敷市真備町の3つの小学校へ行きました。約1か月半～2か月くらいの期間活動しました!



### Q4 活動には何人が参加したの？

**A4** 岡山県から延べ262名、県外からも5府県66名の人たちが手伝いに来てくれて、55日間の活動をやり切りました。実は、DWAT活動が終了した後も、約1か月間岡山県のチーム員28名だけで毎日3か所の避難所を回って、避難所の皆さんとお茶会をしたりゲームをしたりしてふれあいました!



### Q5 避難所ではどんなことをしたの？

**A5** 避難所では主に4種類の活動をしました。

#### 活動a

#### 情報収集・困りごと聞き(アセスメントラウンド)

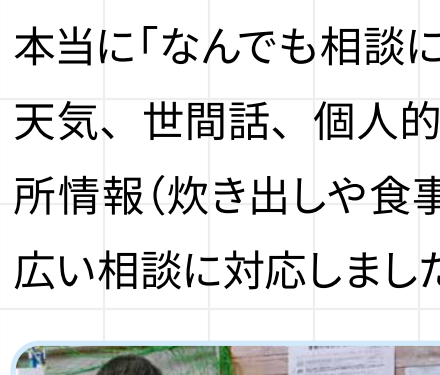
医師(DMAT)や保健師(看護師資格も持たれています)と一緒に、避難しているご家族ごとに、病気はないか、健康に暮らしているか、困り事はないかなどを避難所の方々に「寄り添う気持ち」をもってお聞きして回りました。避難所によっては100件以上お聞きしたところもありました。



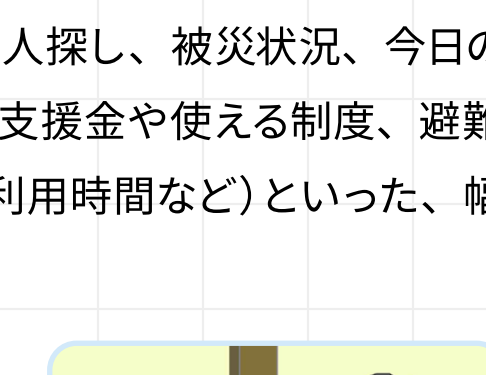
#### 活動b

#### 困っている人を具体的にお助けする(要配慮者支援)

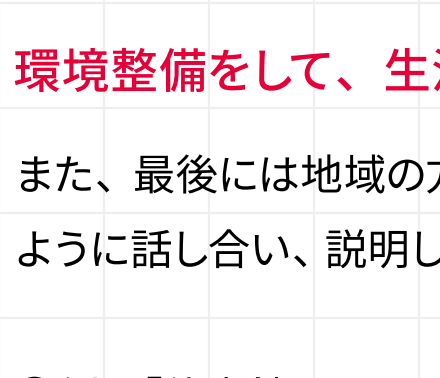
①例:「情報収集・困りごと聞き」で一般の避難所では暮らしていけないお年寄りや障がい者の方が見つかった場合には、すぐに老人ホームや障がい者施設を探して、1日でも早く避難できるように交渉します。



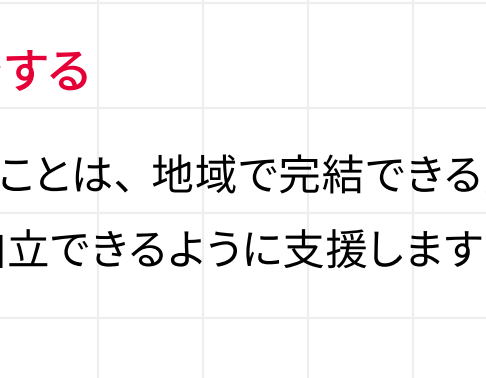
一般避難所から設備の整った施設に「つないで」安全安心に生活してもらおう。



②例:一人暮らしのお年寄りが避難所に5人避難してきていたら、孤独にならないように、すぐ近くの部屋で集まって過ごしてもらって、同年代が交流しやすしたり、サロン活動にお誘いしたりします。



避難所で孤立しないように、サロン活動と「つないで」人とのつながりを創出する。



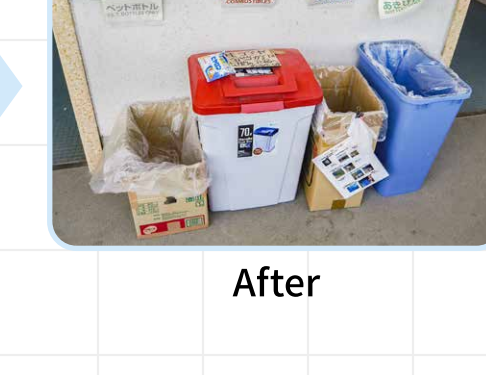
#### 活動c

#### なんでも相談コーナー

本当に「なんでも相談に乗る!」活動で、内容はさまざまです。人探し、被災状況、今日の天気、世間話、個人的な相談、多方面への苦情、被災者への支援金や使える制度、避難所情報(炊き出しや食事の時間、物資配布場所、自衛隊風呂利用時間など)といった、幅広い相談に対応しました。



DWATが分からないことは、避難所管理者(市町村)などに、「つないで」説明してもらおう。



#### 活動d

#### 環境整備をして、生活しやすい環境を整えるお手伝いをする

また、最後には地域の方達(避難所の方達)自身の手で「地域のことは、地域で完結できる」ように話し合い、説明して、環境整備自体を地域の仕事として自立できるように支援します。

①例:「体育館の入り口の足下が散乱している。」  
→問題点(不衛生である。見た目も気になる。靴がどこかにいって、なくなる。)  
→解決策「段ボールで靴箱を作ろう!」



「生活」を快適に! うん、スッキリ!



②例:「決まったゴミ捨て場がない。ゴミ集めをする人がいない。最後にゴミをもっていくところが分からない。」  
→問題点(誰かゴミ集めてほしいけど人がいない。どんどん避難所が汚くなる。)  
→解決策「決まった場所にゴミ箱を設置して、ゴミを分別できるようにする。決まった時間にゴミ収集する。収集したゴミを避難所指定のゴミ捨て場に持っていく。」



少しでも当たり前の「生活」が送れるようにしたい



### DWATについてまとめ

災害現場では消防や警察、自衛隊、行政機関、DMAT(災害派遣医療チーム)、保健師、JRAT(災害派遣リハビリチーム)など様々な専門職チームが活動しますが、福祉のスペシャリストだからこそ気づく「福祉=生活の視点」をもって、被災者に寄りそい、少しでもストレスのない生活を送っていただくために「福祉のヒーロー-DWAT」は活動しています!! 最近では東北、県南など5つの地域に分かれて、県内200名近いDWAT員が災害の無い時でもDWAT活動の勉強会をし、DWATを一般の皆さんにも広める活動ができるよう取り組んでいます。

DWATは黄色のビブスを着用して活動します。



福祉で働く。

そのスキルが災害で困っている人を助けるヒーロー

# 「DWAT」

になるのかもしれない。